



素敵な ピアノ部屋

Here's My Practice Room!

2台ピアノ編

写真〇酒寄克夫

防音室というと敷居が高いように感じられませんか？
ところが、今はとても防音性能に優れ、しかも快適な響きと美しさを持つピアノ部屋が、どんなタイプの住宅にでもお手頃にしつらえられるんです。この連載では、そんな「素敵なピアノ部屋」の実例を紹介していきます。

ピアノデュオ ドゥオール（藤井隆史&白水芳枝）

04年ドイツにて結成後400近いステージを踏み、ピアノデュオを中心とした活動で高い評価を受けるドゥオール。現在各地にてデュオリサイタルを開催し、CDがレコード芸術誌にて特選盤に選出、リサイタルが音楽の友誌「コンサート ベストテン」に取り上げられるなど、今後が益々期待されている。2014年にはドゥオール結成10周年を記念し、6月名古屋 7月東京などでのリサイタルシリーズ、オーケストラとの協演（5月・東京）、4枚目CDの発売などが予定されている。現在藤井は武蔵野音大、白水は国立音大、共立女子大にて後進の指導に当たっている。

公式サイト： <http://www.yoshie-takashi.com/>

公式ブログ： <http://ameblo.jp/yoshie-takashi/>

アカシアの木で、シャープな響きの部屋

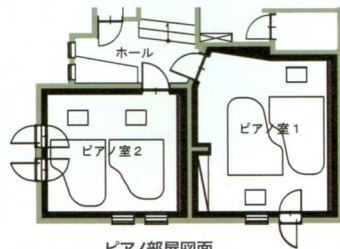


ヒノキの木で、柔らかな響きの部屋。奥のザイラーは旧ドイツ領ポーランドで作られたモデル

建築デザイナーより

おなじみの無垢フローリングと漆喰の組み合わせで、今回は壁にも無垢板張りの面を設け、より積極的に木の響きを活かした設計です。硬く重厚なアカシアと、明るく柔かいヒノキというキャラクターの異なる樹種をチョイス。残響時間などの数値にははっきりと表れるような要素ではありませんが、耳で感じる音色、響きの印象の違いは明らかです。

紅谷信行（一級建築士）



ピアノ部屋図面

協力 アコースティックエンジニアリング
アコースティックデザインシステム
tel.03-3239-2021



上／入口には待ち合いスペースを設置。小さな生徒さんは椅子よりもそばの階段に座りたがるとのこと
左／ふたつのピアノ部屋はスムーズに行き来できる



アカシアの部屋に作り付けた楽譜棚

今回はピアノデュオ『ドゥオール』の藤井隆史さん、白水芳枝さん夫妻のピアノ部屋。2台ピアノの部屋を響きの異なる2種類の防音室にした、珍しい事例だ。

「2台ピアノの部屋がふたつもあるなんてぜひに思われるかもしれませんが、ピアノデュオとして、仕事上必要なものなのです。通常の練習ではピアノが向かい合わせの部屋を使い、ピアノが横並びの部屋では、お互いの手の動きを見たり、曲のどのタイミングで呼吸をしているのかを確認します」（藤井）
「ヨーロッパから帰ってきた当初はひと部屋しかない家で、ピアノを2台置いてそこで寝起きしていました（笑）。今回は日本で3カ所目の住まいなのですが、一軒家でふたつのピアノ部屋にしたかったので、土地から探して設計を依頼しました。以前は横並びの環境がほしい時はスタジオやホールを借りていましたが、自宅で行えるようになってとても便利になりました」（白水）

大阪の二木楽器のスタジオが大好きなおふたり。そこを手がけた音響工事に、「ぜひ私たちも！」と依頼することに。当初は響きに差をつけることは考えていなかったが、建築デザイナーの提案で響き方の異なるふたつのピアノ部屋を造ることになった。メインに使う、ス테인ウェイとヤマハが置いてある部屋は、硬くダークな色調のアカシアの無垢材を用いた部屋。シャープな響きで、ホールのような緊張感ある空気だ。
「こちらの部屋はホールの響きを想定しながらの練

習がしやすく、生徒さんも響きのことを考えながら弾くようになりました。演奏会本番のような緊張した雰囲気があるので、リハーサルにも使えるかもしれません」（藤井）

もうひとつの、ザイラーとヤマハの部屋は、明るいヒノキの無垢材を用いた、柔らかく温かい響きの部屋。

「小さいお子さんのレッスンをする時などはこちらの方が合っているように思います。お気に入りのザイラーのベビーグランドの音色にもぴったりで」（白水）

今回の工事を通して、部屋に使われる材質や響きの構造を知ることができ、とても勉強になったという。もちろん響きのすばらしさだけでなく、屋外への遮音性能もばっちりだ。

「防音室というと響きが吸われ過ぎて何となく疲れるイメージがありましたが、この部屋はその概念を覆してくれました。部屋自体に響きの大切さを教えられた気がして、これまで以上に音のことを真剣に考えるようになりました」（藤井）

「こんな風にすまして言っていますが、できた当初は『響きが全然違う！いい部屋だよ！』って、両方の部屋で1ヵ月くらいずっと熱狂していたんですよ（笑）。音の行方が見えて、気が引き締まります」

（白水）
ずっと苦楽を共にし、ついに理想のピアノ部屋を手に入れたおふたり。これからますます活躍していくことだろう。